

設立の主旨

私はおいしい野菜を沢山食べたくて、「自分の食べるものは自分で作る」との思いで家庭菜園をはじめました。仏教に「身土不治」という言葉がありますが、その土地で取れたものを食べていると病にならないという意味です。地産地消はまさにその教えの実践と言えるでしょう。食卓に地域農産物を優先的にのせていただけるよう、消費者に呼びかけていきたいと思います。

地域の農業・農家はこのままでいいのだろうか？・・・との思いで2005年に菜園クラブを立ち上げました。周知のとおり、農家は国際化の推進による安価、それによる専業農家の減少と、高齢化・温暖化・気温の変化による不作などの、多くの課題を持ち、非常に厳しい状況にあります。菜園クラブは、土いじりが好きで集まった仲間達による勉強会ですが、それだけにとどまらず、この様な状況にある地域の農業・農家を応援しようと、月一度程度のボランティア活動も行っています。

この活動を通じて、地産地消の推進、地域農業活性化による社会貢献に少しでもお役に立てばうれしく思います。

＝地域の農業・農家を一緒に応援してみませんか＝

会員の皆様にも、農家の方からも「ありがとう」を、たくさん頂けるグループになりたい！！

勉強会を行うにあたっては、多方面の方々に多大なるご協力を頂き、感謝いたします。